

2013.7.21 年間第 16 主日 ルカによる福音

10:38 一行が歩いて行くうち、イエスはある村にお入りになった。すると、マルタという女が、イエスを家に迎え入れた。

10:39 彼女にはマリアという姉妹がいた。マリアは主の足もとに座って、その話に聞き入っていた。

10:40 マルタは、いろいろのもてなしのためせわしく立ち働いていたが、そばに近寄って言った。「主よ、わたしの姉妹はわたしだけにもてなしをさせていますが、何ともお思いになりませんか。手伝ってくれるようにおっしゃってください。」

10:41 主はお答えになった。「マルタ、マルタ、あなたは多くのことに思い悩み、心を乱している。

10:42 しかし、必要なことはただ一つだけである。マリアは良い方を選んだ。それを取り上げてはならない。」

イエスと弟子たちでマルタ家にいったとすれば、けっこうな人数です。でも、村には単数形で「イエスが入った」と書いてある。イエスは弟子たちと別行動でマルタの家に行ったのでしょう。

<家に迎え入れる意味は>

マルタがイエスを迎え入れる。72 人の派遣の話にあったように、家に迎え入れる = 信仰したということです。

<マルタとアブラハムの違いは>

マルタはもてなしの準備に忙しい。アブラハムも、もてなしのために家族の者たちを差配して準備しました。

アブラハムは神からイサクの誕生予告の贈り物をもらった。マルタは一見叱られたかのようにみえるが、イエスから贈り物をもらっているのでは？

<残されたイエスの言葉>

マルタはいわなきゃいいのに、イエスに文句をいう。それはイエスの復活をにわかに信じなかったトマスもいっしょです、でもその事ゆえにイエスの言葉をひきだします。

1. 配慮のしすぎ、きのつかいすぎ。マリアのほうが正解だ
2. 必要なことは一つだけ（マリアのようにみ言葉を聞け）

不思議なことですが、マルタに対するイエスの返事がわたしたちにイエスの言葉として伝わり、マリアが聞き入っていたイエスの言葉は残っていません。

<神への愛、隣人への愛>

きょうの聖書箇所は先週のサマリア人＝隣人愛とのペアになっています。

サマリア人のたとえでは神への愛にふれていないが、ここでは神への愛が具体的に示されている。

神への愛とは、み言葉を聞くことです。

「良いほうを選んだ」マルタよりマリアのみ言葉を聞く態度をイエスは「良い」とした。

<同時に二つのことをする>

相撲中継の解説で「あたまで当たるのはいいのだが、脇があいてしまったのが勝敗の分かれ目」そして、一つのことのできても他がおろそかになってはだめで、最低でも同時に二つのことができるようにならないと強くなれない。また本当に強い力士はひとつ先、ふたつ先まで読んでいる、とっていました。

<マルタの場合>

イエスを招き入れる、つまりイエスを信仰するところはいいいのですが、もてなしに忙殺されたのが良くなかった。ぎゃくにマリアは言葉に聞

き入る段階で、もてなし＝隣人愛の段階まで進んでいない、ひとつのことを学んでいる最中だともいえます。

<イエスの一手先>

神の言葉に聞き入るマリアをひきあいにして、より一層の信仰を求め（ここでは、おせっかいはやめなさい）神への、ロゴス（言葉）への信頼を求めた。

聖書には書いていないのですが、ひとつ先を予想するならば、「神を愛し、隣人を愛する」を同時におこなうことをマルタに諭した。

<ふたつの愛>

「ふたつのことを同時におこなう」相撲なら稽古で鍛えるのですが、さて、キリスト教信仰ではどうすれば「神への愛、隣人愛」を同時におこなえるのか、さりげなくそのように振舞えるのでしょうか。毎週礼拝にでる、祈りをかかさない、教会奉仕、社会奉仕をする、あれやこれや…、これでできるのかなあ～

たとえば、親子にとって親であり、子であることはあたりまえのことです。でもそれだけで本当の親子関係が出来上がっているかということそうではないでしょう。

イエスにとってマルタは愛すべき子のひとりです。マルタは気に入ってもらおうとして「もてなし」に励むのですが、それでは本当の関係にはなれないのです。

世界は、自然も人生もありのままの姿で神の愛の中にあります。これは無条件肯定、根本の事実です。しかし、単に神から肯定されているわけではありません。世界に対する神の愛は、人間の主体的な愛の行為をもって完成にいたります。（隣人愛の発露、行為への転化といわれます）

すでに愛されているから「もてなし」で答えるという姿勢が神と人間

の関係では「ほんとう」とされます。

それは、悔い改めをするから罪が赦されるのではなく、すでに罪が赦されているからこそ悔い改める、キリスト教理でいう、このような関係です。

<さいごに> (二回目はマルタを自分の名前に置き換えて読んでみよう)

「マルタ、マルタ、あなたは多くのことに思い悩み、心を乱している。
しかし、必要なことはただ一つだけである」